



1. 貧困をなくそう 8. 働きがいも 経済成長も
15. 陸の豊かさを守ろう



植林活動に参加した人々。

融資で持続的な植林活動を

森林面積が国土の2パーセント以下と極度の森林破壊が環境・社会問題になっているハイチでは、今まで多くの団体が植林を行ってきました。しかし、ほとんどの活動は事業後に停滞してしまいます。長期的な結果を出すことは容易ではありません。

活動の持続性を確保するためには、農民の支援に対する依存性を低め、自発性を高めるための環境を整える必要があります。そこで私たちは、商品価値が高く栽培が容易なモリンガという木を選び、さらに融資という「ぎっかけツール」を用意して、農民たちが動かないと何も始まらないという環境をつくることにしました。

「植林で収入が増えるならぜひ始めたいけど、人を雇うお金がないし、農機具もない」と話していた農民も、「小規模融資を用意します。収穫できるまでは低金利にします。収穫できるようになったら販売収入で返済すればよいのです。市場開拓にも一緒に取り組みます」という私たちの話を聞いて、自ら植林に取り組み始めました。融資には「誰も返済してくれないのではないか」という不安もありました。しかし、「まずは彼らに信じて、問題が生じたら一緒に解決策を見出していこう」と心に決めました。

植林と融資開始から4か月たった今、モリンガが順調に育ち、全員が確実に返済を続けています。村長が広く住民に呼びかけ、コミュニティ全体での植林活動が行われたのです。それは、わが子の成長を見るように喜びでした。

今日の投稿文と写真 林美穂さん

NPO「ハイチ友の会」所属。環境および地域開発の専門家。2017年から開始したモリンガ植林プロジェクトにおいて、住民との対話を通して自発的かつ持続可能な地域開発を支援している。

あなたの投稿をお待ちしています！

「わたしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題に取り組む人々の姿など、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。
応募要項：写真1点（ご自身が撮影されたもの）、文字原稿400字以内。
*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛)



SDGsとは

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標 (SDGs) と JICA の取り組み
URL: <https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/>